

防除指針 I

6. 特用作物

(1) 茶

茶

農薬名	特性	対象雑草名	使用上の注意事項
ブリグロックスL ジクワット 7.0% パラコート 5.0%	非ホルモン型の非選択接触性除草剤であり、光合成過程で生じた本剤の過酸化物が細胞を破壊し殺草する。殺草には光が必要である。	一年生雑草	1. 薬液が茶葉に直接かかると激しい薬害を生じ、枝葉が枯れる。 2. 散布ムラになると効果が劣るのでいねいに散布する。 3. 危害防止のため起泡剤を添加し、フォームスプレーノズルで散布する。 4. 雑草の草丈が20cm以上になると効果が劣る。 5. 宿根草は地上部位を枯死させるが再生が早い。 6. ツユクサ、タデ類の優占園では効果が低い。 7. 薬害が生じた場合は深めにせん枝して樹勢の回復をはかる。 8. 毒性が強いので、散布及び保管には細心の注意を払う。
ラウンドアップマックスロード グリホサートカリウム塩 48.0%	非選択性の吸収移行型の除草剤で、茎葉部から吸収され、主として芳香族アミノ酸の生合成阻害によって殺草する。	一年生及び多年生雑草	1. 作物の茎葉に薬液が飛散すると薬害を生ずる。 2. ラウンドアップマックスロードは散布後1時間以内の降雨、タッチダウンiQは散布後1時間以内の降雨、他のグリホサートイソプロピルアミン塩剤は散布後6時間以内の降雨でそれぞれ効果を減ずるので、天候をよく見きわめてから散布する。 3. 展着剤の加用は必要ない。 4. 接触移行型であるため、土壌処理効果がないので、雑草に均一に散布する。 5. 殺草効果は散布水量より散布濃度に影響されるので草種別使用薬量を守る。 6. 殺草効果は雑草の生育最盛期ほど高くなる。 7. 効果の発現がやや遅いので、散布後7～10日間は刈取り、耕起は行わない。 8. 宿根草にも殺草効果が高いので、法面等での使用は土壌流亡に注意する。
タッチダウンiQ グリホサートカリウム塩 44.7%		一年生及び多年生雑草	
カルナクス 草枯らしMIC サンフーロン液剤 グリホサートイソプロピルアミン塩 41.0%			
バスタ液剤 グルホシネート 18.5%	非ホルモン型吸収移行性の非選択性除草剤であり、体内に移行し、グルタミン合成酵素の作用を阻害し、アンモニアを過剰に集積させ光合成を阻害し殺草する。	一年生雑草	1. 雑草にのみ散布し、作物には薬液がかからないように注意する。 2. バスタ液剤は散布後6時間以内の降雨、ザクサ液剤は散布後1時間以内の降雨は効果を減ずることがあるので、天候をよく見極めてから散布する。
ザクサ液剤 グルホシネートPナトリウム塩 11.5%		一年生雑草	
トレファノサイド乳剤 トリフルラリン 44.5%	非ホルモン型の除草剤であり根部及び幼芽部から吸収され、側根の形成を阻害したり幼芽部の細胞分裂を阻害し発生を抑制する。	一年生雑草（ただし、ツユクサ科、カヤツリグサ科、アブラナ科・キク科雑草を除く）	1. 浅根の新植園では薬害が生じるおそれがあるので、2年生以降の園で使用する。 2. 一年生イネ科雑草に効果が高い。 3. 低温などのために沈殿物ができた場合はビンのまま約40℃のぬるま湯であたため、ふりながら溶かす。
トレファノサイド粒剤2.5 トリフルラリン 2.5%			1. 浅根の新植園では薬害が生じるおそれがあるので、2年生以降の園で使用する。 2. 一年生イネ科雑草に効果が高い。